

- 「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の主な取組の一環である防災教育の促進として、手取川・梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会と教育関係者等が連携し、総合水防演習を契機とし開催地である川北町の小学校3校を防災教育に関する支援を実施する学校として決定。
- 平成30年5～6月に、金沢大学の青木准教授が講師となり、総合水防演習を主軸とした防災学習を3回に分けて実施。
- 今後、先生等と協議を行うなど学校と連携し、指導計画等の作成支援に関する取組を推進。

【事前学習：手取川を知ろう】

日時：平成30年5月15日（火）



第1段は「手取川を知ろう」のテーマのもと、『浸水ナビ』の活用により自分の住んでいる地域の浸水深・到達時間の調査を実施

【災害体験学習：総合水防演習】

日時：平成30年5月26日（土）



第2段は「体感」のテーマのもと、総合水防演習の災害体験学習をツールとして活用し、流速や大雨等を実際に体感

【事後学習：マイ・タイムライン作成】

平成30年6月19日（火）



第3段は「避難」のテーマのもと、洪水時に「いつ、どこに、どうやって逃げるか」を考え、児童自身が洪水避難のマイ・タイムラインを作成

災害体験学習の内容



土のう作り体験で重さを体感



流速体験で水流の強さを体感



降雨体験で大雨を体感

